

富山県アイスホッケー連盟 新体制(2025-2027)における取り組みについて（理事長所信）

1 これまでの評価・課題

富山県アイスホッケー連盟では、重点方針として「富山スタイル」の確立（①中長期ビジョンの浸透と意思統一、②ジュニアから成年までの一貫した強化体制、③全年代での競技者の拡大）を掲げ、これまで各部門、委員会において各種事業に取り組んできた。

その結果、国民スポーツ大会への連続出場をはじめ、ジュニアから社会人、オールドタイマーに至るまで、各カテゴリーにおいて全国大会への出場や日ア連事業へのスタッフ派遣など、一定の成果が出ている。

一方、競技人口の減少、活動拠点の確保、主催大会の運営、連盟スタッフの人材不足、新リンク完成後に向けた体制整備など、連盟として多くの課題を抱えており、今後とも事業の拡充や組織体制の強化等に取り組む必要がある。

（各種事業・・・近年の取り組み）

- ・スケーティング理論に基づいた基礎スキル練習会の開催
- ・クロスアイスゲーム形式（ミニゴール整備）による大会開催
- ・近隣県参加によるジュニア交流アイスホッケー競技会の開催
- ・各チームの普及事業（教室・体験会など）への助成・後援 等

2 新体制の取組方針（案）

①「富山スタイル」の確立に向けた取り組みを継続し、拡充する。

- ア. 将来を見据えた選手育成、上位カテゴリーへの輩出、一貫した指導体制の確立
- イ. 競技人口（連盟会員）の増加（活動拠点の確保、ニーズへの対応） 等

②新リンク完成（2027春）を念頭に置いた体制づくり

これまで課題であった活動拠点を確保することで、①の取り組みをさらに発展させ、進化していくことが求められる。そのため、連盟組織を強化し、受け入れ体制を確立することが必要となる。

- ア. 連盟理事、事務局を担う人材の充実・確保（自薦・他薦・公募、外部委託）
- イ. ブロック大会等の開催（運営スタッフ、オフィシャルの育成）
- ウ. 予算（財源）の確保（チーム支援、経費支出、スタッフ謝礼） 等

以 上